

# ESD ユネスコ世界会議交流セミナー報告書

団体名 一般社団法人ときの羽根

## 【ESD ユネスコ世界会議の成果】

本セミナーは、中国各地から小学校教師をはじめ環境分野の大学生、研究者、政府関係者ら 20 名が来日参加し、上海崇明島「自然がっこう」プロジェクトの三か年間の成果報告と崇明島でのグリーンマップ指導を拡大発展させ、長江流域の生物多様性保全活動「こども環境サミット 2015」活動計画の合同発表および「ESDと循環型農業」など日中双方が抱える課題について

情報と意見交換を目的とした。

前半：上海崇明島「自然がっこう」プロジェクトおよび「日中アグリ青年交流会」の成果報告と長江流域「こども環境サミット 2015」計画について、一般社団法人ときの羽根より発表を行った。

後半：以下の3つのテーマの専門家にコーディネーターを務めていただき、グループディスカッションを実施した。

- 1) 子どもたちを対象にした ESD と生物多様性について
- 2) 長江こども環境サミットに向けたグリーンマップの活用とESD
- 3) 環境と共存する循環型農業の深化に向けたESDの展開

短い時間でしたが、環境保全教育の現状や循環型農業の現状と課題など日中それぞれの現状報告に関心が高く、積極的な情報交換と議論が交わされ、この分野に対する課題の重要性を共有し解決に向け一層の情報交換と交流を深めることの大切さを認識する時間となった。



## 【今後の展望】

上海崇明島における「自然がっこう」の実績と、2013、2014 年度と関係者を日本に招聘して視察、会議・シンポジウムを実施した双方向の交流実績をベースに上海市を拠点に中国内陸部の長江の上・中流域(四川省、湖北省、安徽省)へと活動範囲を広域化させる。

生活区域だけでなく「長江流域連携」を通して生態系における生物多様性保全への意識向上を目指す ESD 活動へと進化させ、2015 年 10 月に「長江流域生物多様性保全活動-こども環境サミット」を実施する。環境対策を数値目標ではなく小学生の視点で体験、学び、発見を通してあらゆる対象との対話を重ねながら課題解決に取り組む「グリーンマップ」をツールとした日中環境教育活動へと拡大発展させる。

活動をより深化させることを目的に ESD ユネスコ世界会議交流セミナーの会場にて、弊法人と上海対外科学技術交流中心、上海市農業科学院園芸研究所の三者で協力合意書を締結した。

